

港湾空港局

一般会計要求総額

5, 813百万円 (前年度比+34.4%)

特別会計要求総額

8, 615百万円 (前年度比▲32.9%)

〔要求の基本的考え方〕

以下の3つの柱を基にして、「元気発進！北九州」プランを着実に実行していきます。

- 1 北九州港 ～ 競争力のある港づくりの推進
- 2 北九州空港 ～ 北九州空港将来ビジョンの推進
- 3 港湾整備特別会計 ～ 抜本的改革の推進



(名古屋小牧線就航予定のフジドリームエアラインズ)



(田野浦ROROターミナル)

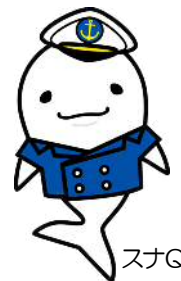
(主な事業)

単位 (百万円)

1 北九州港 ～ 競争力のある港づくりの推進

港湾間競争を優位に進めるためには、充実した物流サービスを提供するなど北九州港の利便性を維持・向上させる必要があります。港湾インフラの効果的かつ効率的な維持管理を行い、これまで取り組んできた「集貨」と産業集積（自動車物流や風力発電関連産業の拠点化等）による「創貨」を促進します。

(継続) 響灘洋上風力発電拠点化推進事業	34
(新規) 国際RORO航路誘致事業	55
(拡充) クルーズ客船誘致事業	8
(継続) 海岸(高潮)事業	127
(継続) 奥洞海航路浚渫事業	257
(新規) 砂津緑地整備事業	109



2 北九州空港 ～ 北九州空港将来ビジョンの推進

「福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完」の考え方を基本とし、北九州空港の24時間空港のポテンシャルと、後背圏のものづくりの集積を活かし、物流・交流・産業に関する3つの将来像を実現することにより、空港及び周辺地域が相互に発展する好循環を目指します。

(新規) 北九州空港将来ビジョン推進事業	56
(拡充) 北九州空港航空貨物拠点化事業	179
(継続) 北九州空港路線誘致事業	146

3 港湾整備特別会計 ～ 抜本的改革の推進

埋立分譲地の売却不振や地価下落等により、独立採算の維持が困難となっている「港湾整備特別会計」について、第三セクター等改革推進債の活用も視野に入れた「抜本的改革」を推進していきます。